



県内の強豪が熱戦

■5月4日から2日間、全日本学童軟式野球大会県予選大会が開催され、県内各支部から16の代表チームが熱戦を繰り広げました。枕崎支部からは立神野球スポーツ少年団が出演。主将の中原翼くんが力強く選手宣誓を行いました。



枕崎市茶業協議会の荒茶品評会

■5月7日、枕崎市茶業協議会が主催する荒茶品評会が、南さつま農協枕崎支所で行われました。3名の審査員が、色や香り、味などの審査をし、1位に中原製茶が選ばれました。



桜山小学校で特別授業を実施

■5月11日、桜山小学校体育館で世界65カ国を駆ける旅人、たかのてるこさんによる特別授業が行われました。参加した同校の5・6年生の児童は、たかのさんの世界中を旅する中で感じたことや経験を交えた話を興味深そうに聞いていました。



薩摩青雲丸が航海実習に出港

■5月17日、鹿児島水産高校の実習船「薩摩青雲丸」が、1・2年生の実習生22名を乗せて、70日間の航海実習に出港しました。今後、ハワイ沖でマグロのはえ縄漁などの実習を行い、7月23日に枕崎に帰港する予定です。



念願の難関採用試験に合格
～国交省航空局航空管制運航情報官に合格

鹿児島水産高校情報通信科専攻科の(写真左から)平峯慎太郎さん、田代明花さん、菅大成さん、家中怜奈さん(今年3月既修了)、鮫島英作さんの5名が、国土交通省航空局の「航空管制運航情報官」に合格しました。

採用試験を受験するには通信士などの資格が必要で、生徒たちは水産高校入学後に「第1級総合無線通信士」や「第1級陸上無線技術士」、「航空無線通信士」などの難易度の高い資格を取得し、試験に臨みました。

田代さんは「毎日が不安でしたが、合格の連絡を受けてとても嬉しかったです。これからは社会人として、自分にできることを進んでできる人間になりたいです」と話していました。



ウミガメが戻ってくることを願って
～長浜海岸周辺の清掃作業を実施

ウミガメの本格的な上陸シーズンを前に、ウミガメの上陸・産卵場でもある長浜海岸周辺(東白沢・西白沢)の清掃作業が5月19日に行われました。当日は、地元住民やボランティア約80名が参加し、ウミガメが上陸するために障害となるゴミや流木などを取り除きました。

昨年、市全体では35頭のウミガメの上陸と2頭の産卵が確認されています。

ウミガメは非常に警戒心が強いので、上陸中のウミガメに近づくことや光を当てたりすることはやめましょう。ウミガメの保護にご協力をお願いします。



枕崎野球スポーツ少年団が準優勝
～第31回九州少年軟式野球県予選大会兼第40回県下学童軟式野球選手権大会

5月4日と5日の2日間、曾於市財部城山野球場他で行われた「第31回九州少年軟式野球県予選大会兼第40回県下学童軟式野球選手権大会」で、枕崎野球スポーツ少年団が準優勝しました。5月15日には、選手たちが市役所を訪れ、前田祝成市長に報告を行いました。主将の児玉大空くん(6年)は「九州大会予選では、みんなで力を合わせてプレイできたので準優勝することができました。九州大会では、一つでも多く勝って、優勝を目指して頑張りたいです」と話してくれました。

同少年団は、8月に長崎県で行われる第31回九州少年軟式野球大会に県代表として出場します。



子どもたちの元気な声響く
～第36回こどもの日かつおまつり

「こどもの日かつおまつり」が5月4・5日、地場センター周辺で行われました。両日晴天に恵まれ、会場は県内外からたくさんの家族連れなどでにぎわいました。

メインステージでは恒例のかつお節削り大会やかつお一本釣り大会が行われ、子どもから大人まで多くの方が参加し、会場は大いに盛り上がりしました。また、2020年に開催される国体PRのため、南九州スポーツクラブなごな教室の子どもたちが、大河ドラマ「西郷どん」のオープニング曲に合わせた「リズムなごな」を披露しました。

地場センター前では、鹿児島水産高校食品工学科のさつま乙女6名による解説を交えたカツオ解体ショーが行われ、多くの来場者の注目を集めていました。飲食ブースでは、枕崎鯉船めしをはじめとするご当地グルメに舌鼓を打つなど、来場者は楽しい連休のひと時を過ごしていました。



100歳おめでとうございます
～井手エツさん(平田町)

井手エツさんが5月8日、めでたく100歳の誕生日を迎え、9日に市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

井手さんは本市で生まれ育ち、以前は東京で家政婦の仕事をしていました。50～60代の頃は手芸や刺繍、ジグソーパズルが趣味で、80歳まで内職で和裁をしていたそうです。長寿の秘訣は「小さいことにこだわらず、ストレスが少ないこと」と話します。

これからも元気で長生きしてください。